

# Foreword 卷頭 言



## お客様の挑戦を「最速・最適」に支える。

代表取締役社長  
黒川 茂

本年3月、北陸新幹線の長野―金沢間が開通し、東京と金沢を最速2時間28分で結ぶ交通網が開業しました。この開業にとも

ない、北陸地域では人の往来や物流・商流の活性化による経済効果に大きな期待が寄せられています。私も年2〜3回は北陸を訪れますが、金沢駅周辺の再開発が進むなど、訪れるたびに地元の盛り上がりを感じています。

北陸に限らず、地域社会の活性化は国の政策でも重要課題に掲げられています。その牽引役を担っているのが、昔から各地域に密着し、その経済発展を支えてきた地域金融機関です。当社は地域金融機関様にシステムを採用いただいている関係で経営者の方々とお会いする機会も多いのですが、皆様、地域社会を元気にするためにさまざまな挑戦を始めています。

最近では、ビジネスマッチングなど従来の取り組みだけでなく、地元企業の海外進出のご支援や高齢者の買い物ご支援など、金融機関の枠を超えた取り組みも進んでいます。業種・業態間の垣根がますます低くなり、あらゆる

企業が競合先となり得るなかで、地域に豊かさを創出するため、“次の一手”を積極的に検討しているのです。

そして、経営者の方々が異口同音に仰るのが、それらの施策をいかにスピーディに実行できるかが重要だということです。魅力的なサービスや商品を生み出しても、時機を逸しては意味がありません。刻々と変化するビジネス環境を捉えながら挑戦し続けていくためには、スピードが必要でした。日本ユニシスグループも、こうしたお客様の挑戦を支えていくため、そして私たち自身も成長していくため、スピードにこだわりたいと考えています。

本年4月からスタートする中期経営計画においても、キーワードの1つに「最速・最適」をあげています。ソリューションが最適とただでは十分ではなく、最速に提供することが求められているのです。

芽吹き季節を迎え、決意も新たに「最速・最適」で日々お客様の価値創造を支援してまいります。来るべき新年度におきましても、よろしく願いたします。



KUROKAWA Shigeru

**Profile** 1974年の入社以降、信託銀行、地方銀行、メガバンクなど金融部門の技術者として長年携わる。製造・流通部門のプロジェクトに参加したのち、2003年からは再び金融部門の統括部長やプロジェクトマネジャーを歴任。2008年に執行役員 兼 SW&サービス本部長に就任、執行役員 兼 経営企画部長、常務執行役員 兼 システム統括部門長などを経て、2011年6月、代表取締役社長に就任。